



第 73 号

平成28年9月発行

発 行

広島県立障害者リハビリテーションセンター
若 草 園
若 草 療 育 園

東広島市西条町田口295-3
TEL (082) 425-1455

印刷所
ワークホーム聖恵
竹原市忠海中町三丁目16番1号
TEL (0846) 26-1002



はじめての若草園



広島県立障害者リハビリテーション

若草園看護師長 近 藤 彰 吾

若草園は平成24年の法改正に伴い、肢体不自由児施設から医療型障害児入所施設になり、はや4年目を迎えました。

私はこの4月から、若草園の看護師長の命を受け、長年勤務していた手術室から異動してまいりました。病院部門であります医療センターの手術室での勤務が長く、施設部門の若草園病棟での勤務は初めてとなります。若草園に入園している園児の手術に関することや、急性期看護についての知識はありますが、施設部門の病棟管理

や、療育制度、特別支援学校との関係等と初めての事ばかりで、当初は戸惑うことが多く、スタッフや関係部署の皆様にはご迷惑をお掛けしたと思います。しかし、スタッフや関係部署の皆様のご協力、保護者の方々や園児の笑顔に支えられ、何とか頑張れていることに感謝しています。

私がかつて知っていた若草園は、車いすやペルカー（ペルテス病の園児が乗る台車）で元気に廊下を走っている園児のイメージがありました。しかし現在は、入園

児は重度化し、常に観察が必要な園児が増えていました。また、重複障害を持ち医療的ケアの必要な園児も増加し、看護業務も複雑化、多忙化していました。

若草園でも志村園長のもと、運営方針である「利用者の身体、その他の状況及びその置かれている環境にに応じて、必要な療育を行うとともに関係市町、児童相談所・こども家庭センター及び地域の保健医療・福祉サービスとの連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます。」とあるように現在ある専門的機能をより強化し、個性を考え、各関連機関との連携を密にした支援を行っていかねばばと考えております。

さて、医療型障害児入所施設は以前の肢体不自由児施設のような

障害種別ごとに分類されるのではなく、重度・重複障害や被虐待児への対応を図るほか、自立（地域生活移行）のための支援を充実させることが求められます。また、支援内容については専門的機能を強化するとともに個別支援計画を踏まえた支援が重要となります。私も、初心に戻り、児童福祉・障害者福祉の法律を始めとする知識を習得し知見を広めるとともに、スタッフ一人ひとりが個性のある看護が提供できるような専門的分野の知識・技術を向上させ、園児がより安全、安心な医療・療育が受けられるよう看護師長として環境づくりに努めたいと思います。

最後に、保護者を始め、各関連部署の皆様、若草園で初めての男性看護師長ということで、不安もあると思いますが、私なりに精一杯、園児が楽しく笑顔で入園生活が送れるよう努力いたしますので、ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

笑顔の輪

若草療育園

5月初旬、日課の新聞取りを終えて育成課に寄った藤原香保理さんに「福祉コンサート」のお誘いの声がかかりました。音楽大好きな藤原さん。もう、それはそれはその日を待ち焦がれていたらしやいました。

そして当日。その日の為に自分で選んだ新品の服に身を包み出発。いよいよコンサートのスタートです。身を乗り出すように終始真剣な眼差しで聞いておられました。集中力を切らされることなくコンサートは終了。しかし、帰りの車内では行く前の彼女の興奮とは裏腹にとてもしら着いていらつしやいました。嬉しさが爆発したのは帰園されてしばらくたってからでした。一息ついて夕食の時間、彼女の笑い声がデイルームに響き始めました。楽しさが漏れてしまおうと言わんばかりに手で口を塞ぐのですがそれでも笑い声が溢れてしまふ。その楽しい雰囲気の中にいた利用者様もつられて笑いが止まらない様子。その状況について職員も笑ってしまう。幸せを絵に描いたような情景がそこにありました。

いつも療育園はこんな風に温かく、朗らかな空気に包まれています。一人の幸せが皆の幸せになる優しい空気がここにあります。この幸せな優しい空気が明日も訪れますように…。デイルームに差し込んだ夕日が皆さんの笑顔をさらに輝かせていました。



春のレクリエーション

若草園

今年の春のレクリエーションのテーマは「みんなでティーボールに挑戦しよう!!」です。ティーボールをやったことがない、見たことがない園児達が挑戦しました。試合に出ている高等部のお兄さん達に優しく教えてもらい、バッティングや的あてをしたりとゲームを楽しみました。「肘はこの位置で、思いっきりバットを振って!」ととても丁寧に教えてくれるお兄さん達はさすがだなと感じました。天気も良く、汗を流しながらも集中しボールを狙い、何度も何度も打っていました。最初はなかなかボールに当たることができませんでした。最初は、いい当たりが出た時には「やったあ」と大喜びしていました。お兄さんや職員に「すごいじゃん!!」と褒められ満面の笑みを浮かべていました。きっと今年は「ティーボールに出たい」と言ってくれる選手が増えると期待しています。



成人日帰り旅行

若草療育園

「明日は日帰り旅行じゃね〜!」という職員の声かけに目を輝かせる利用者さん。1年に1回の日帰り旅行は利用者さん、保護者の方々にとって特別な一日となります。

今年の旅行先は、広島空港、三景園、道の駅(竹原)、人気の宮島に加え、新たにマリーナホップへ行くこととなりました。

おしゃれをして、親子仲良くゆっくり過ごせる時間。楽しみのランチは、いつもより食欲が増し、シヨッピングでは、あれにしようか…これにしようか…と悩み。あつという間に時間が過ぎていきます。

園では見ることのできないくらい飛び切りの笑顔を見せてくれる方、終始笑顔が絶えず、帰る頃にはうとうとされる方。一人ひとりが特別なその一日を思う存分楽しめます。

「ただいま!!」と帰ってこられた方の満足げな笑顔と、待つてましたとばかりに「おかえり!!」と笑顔で迎える利用者さんと職員。全員がそろると、「今日はね〜」と広がる思いの話。療育園に、新たな花がパツと開く瞬間です。



新一年生の紹介

新小学一年生

棟山 悠雅くん



若草園の癒しキャラ、歌が大好きな悠雅くんは、キュートな笑顔がトレードマーク。その愛くるしい笑顔で「はいっ!」と元気よくお返事します。毎日学校へ行くのが楽しみですなんだって。

新中学一年生

山本 洋一くん



「中学生になったら、友達たくさんつくって、いっぱい泣いて笑って思い出を作りたい」と話していた洋一君。学校生活はとっても充実しているそう。将来の夢は警察官。「しっかり運動して、夢に向かって突き進みたい」。頑張れ、洋一くん!

田中 勝也くん



抱きしめたくなるような、さわやか勝也君はもう中学生。季節の移り変わりを、先生や職員さんたちと一緒に散策しながら感じています。「お父さんやお母さんといっぱい散策できたらな〜」。感受性豊かな勝也くん、たくさん思い出作ろうね!

新高校一年生

森田 綾乃さん



「勉強についていくのが大変」と苦笑いの綾乃さん。「でもね、新しい友達もたくさんできて嬉しいんよ。体育祭で先輩との距離が縮まりました」と笑顔も。「3年間しっかり頑張って、将来はパン屋さんになりたい」と宣言。

占部 太子くん



何事にも興味津々の太子くん。食えることが大好きで特別にお寿司が好きなんだと。今は毎日の野球観戦が楽しみ。カープが強い今年は嬉しい〜と太子くんスマイル。でもやっぱり一番はおかあさん。お母さんともっとお出掛けしたいな。

林 拓海くん



普段はおとなしい印象の拓海くんも、マイクを持てば松山千春の歌を熱唱し、クルマのことにやたら詳しいなど、隠れた才能は数知れず。「友達をたくさん作りたい。大人になったら、車の運転をしてみたいな」と意欲的。

ありがとう。煌くん。

中藤 煌生くん



この春から小学校に入学し、授業を通して色々な経験をしました。煌くんが見せてくれる小さな変化に、みんな嬉ばせてもらいました。そんな煌くんでしたが、7月29日に永眠されました。ご冥福をお祈りいたします。これからみんなを見守ってね。

ボランティア紹介

若草園・若草療育園の行事への参加、個別支援や入園児者への関わり、学習指導や縫い物などに多くのボランティアの方々に継続して来て下さり、日々の生活に潤いと刺激をいただき本当にありがとうございます。これからも宜しくお願い致します。

○行事(バーベキュー)

井手本 勅子	川崎 重江	土肥 孝子	三澤 里子	小早 衣子	中井 悠衣	平松 義久
原 應子	貫 名子	橋 中子	川 崎子	佐々木 海子	新中 智恵子	前原 瑞輝

○縫い物

川橋 照美	大 菊子
野中 美美	丸 地子

○学習支援

原 真由美	西 田来
池 志乃	堀 川斗

○余暇支援

原 正ゆかり	大川 中子
新穂 智司	丸 崎子

○講師

吉本 より子

○花壇の草取り

大丸 啓子	川 野子
米田 隆裕	浩 子

○制作・環境整備

林 七海	大 丸子
川野 浩子	啓 子

(4月〜7月 敬称略)

行 事 予 定

9月	1日 始業式 5日 輪の会 9日 誕生会 11日 面会日 そうめん流し 25日 お月見会 29～30日 中1宿泊学習
10月	3日 輪の会 6～7日 小6修学旅行 高1宿泊学習 7日 誕生会 12～14日 高2修学旅行 16日 面会日 19日～21日 中2修学旅行
11月	3日 Tボール大会(若草園) 7日 輪の会 11日 文化祭 誕生会 12日 文化祭 面会日
12月	5日 輪の会 9日 誕生会 11日 面会日 もちつき 18日 クリスマス会(若草園) 22日 終業式 25日 クリスマス会(療育園) 12月29日～1月6日 ふれあい DAY



行 事 だ よ り



5月20日 園外保育(保育)



6月1日 成人日帰り旅行(療育園)



7月3日 セタコンサート(若草園・療育園)



7月30日 スポレク(若草園)

編 集 後 記

今年度最初の機関紙『若草』が無事発行されました。毎年メンバーが少しずつ変わっていく中で、内容も少しずつでも読み応えのあるものになっていくことを思いで制作しました。利用者、職員、時にはご家族の方も参加し、みんながひとつになつてやり遂げる「行事」はどれも、毎回思わぬ楽しみや驚きの連続です。より多くの方に参加いただき、ご意見をいただけたらと思います。今回の『若草』はいかがだったでしょうか？次号はもう冬。乞うご期待ください。